

(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230

薬害肝炎の訴訟のお話

4月号で『薬害肝炎』についてお伝えしましたが、今回は『薬害肝炎訴訟』についてお伝えします。

薬害肝炎訴訟の目的は以下の3点です。

国と製薬会社に法的責任があることを明確にする事

フィブリノゲン製剤などの血液凝固因子製剤の投与を受けたことによってC型肝炎ウイルス(HCV)に感染してしまった被害者の数は、正確にはわかっていません。しかし、1980年以降にフィブリノゲン製剤の投与を受けた患者は約28万人で、そのうち1万人以上がHCVに感染したといわれています。これほど多くの方が感染してしまったのは、国と製薬会社が、血液凝固因子製剤の危険性を警告し、適切な措置を怠った事が原因です。法的責任を明確にする事が被害の救済や真相究明の出発点となります。

薬害肝炎に感染してしまった被害者の救済

国と製薬会社に法的責任があれば、被害者の被った損害を賠償しなければなりません。その上で、被害者が安心して生活を送れるように、C型肝炎の治療体制の確立、生活保障の実施・充実などの恒久的な対策が講じられることが欠かせません。

薬害肝炎被害の真相究明と薬害の再発防止

このような大規模な薬害被害が生じてしまった原因を究明し、被害実態を明らかにする事が必要です。そのことは、薬害の再発防止にもつながります。

現在の状況

HCV感染者は国内で200万人以上といわれています。しかし、自覚症状に乏しく感染に気が付かないことが多いため、感染の早期発見が必要です。また感染に気付いていても、感染経路が不明確なことも多く、血液製剤による感染が疑われても、カルテが破棄されているなどして感染経路の特定が困難となっています。感染経路を明らかにするためにも、フィブリノゲン納入先の7004医療機関の公表の必要があります。内閣府の情報調査審査委員会は納入先医療機関を公開すべしとの答申を出しましたが、一部の医療機関の不服申立てで、先延ばしになっています。

私たち薬局でも病院・診療所と協力し、C型肝炎の患者様を対象にアンケートを行い、薬害肝炎の疑いのある方を早期発見できるように取り組んでいます。「私のC型肝炎の原因がわからなくて不安だ」「ひょっとしたら昔の治療が原因かも」など不安がある方は、どなたでも結構です。私たちにご連絡ください。

訴訟の状況としては、アメリカFDAの高官としてフィブリノゲン製剤の承認取り消しに深く関与したパーカー氏の尋問が8月31日、9月1日に東京地裁で行なわれます。肝炎訴訟が大きく進展することへの期待が持たれます。
8月22日は薬害根絶デーです。

肥満と食事



太りすぎは体に悪いと分かっているにもかかわらず実行できないのが減量…。そもそもダイエットとは単に「体重を減らす」ことではなく「健康や美容などのための食事」という意味です。今回はダイエットの原則を食事の面からご紹介します。

摂取カロリー < 消費カロリー

ダイエットの原則は摂取カロリーを消費カロリーより減らすこと。つまりカロリーを“赤字”にすることで、体脂肪1kgは約7000kcal。つまり赤字が7000kcalになれば体重が1kg減るという計算になります。[Aさんの場合]

1日2500kcal 1800kcalにダウン(2500 - 1800 = 700)

700kcal×10日 = 7000kcal 10日で1kg減量！！

もちろん単純な計算どおりに進むことはありませんがまずは毎日の食生活を見直すことが大事です。

食事が主で運動は従

長い歴史の中で、私たちの体は極めて少ないエネルギーで効率よく運動できるしくみになっています。例えば、フルマラソンを2時間半で走破すると2400kcal前後のエネルギーを消費します。もし食事を制限せずに運動だけで体脂肪1kgを燃焼させようとするればフルマラソンを3回も走らなければならない計算になってしまいます。ダイエットの基本は『過食を避け、適度な運動を続ける』ことです。筋肉や骨の減少を予防し、基礎代謝の低下などの食事療法の欠点を補う意味で運動を一緒に行いましょう。

生活習慣の見直しを

リバウンドを防ぎ太りにくいライフスタイルを身につけることがなにも増して重要です。

食事の時間を決め1日3食しっかり食べましょう(1日2食は返って太る原因です)

寝る前の食事は避けましょう(3時間くらい空けるのが理想です)

早食いは食べ過ぎのもと、ゆっくり食事をする習慣をつけましょう

ご飯を適量とることで満腹感があり食べすぎを予防できます

野菜はしっかりと食べ、油と砂糖の取りすぎに注意しましょう

また、「いつ、何を、どんな状況で飲んだり食べたりしたのか」を“食事メモ”に毎日書くこともおすすめします。気がつかなかった肥満の原因が見つかるかもしれませんね。

薬害C型肝炎：フィブリノゲン57病院に納入。

全日本民主医療機関連合会と日本生活共同組合連合会独自調査(毎日新聞 2004年5月15日)

厚生労働省は5月13日にフィブリノゲン納入先の公表を予定していたが、一部の医療機関の不服申し立てで先延ばししている。薬害肝炎訴訟原告・弁護団が昨年、医療関連6団体に、納入や投与記録の有無を調べてもらうよう要請。民医連と日本生活協同組合がこれに応じた。

～民医連や生協では、独自の調査を進め、納入の事実の把握、カルテから使用の事実がわかった方への連絡を進めています。また、過去に大きな手術を受けたなどフィブリノゲン製剤が使われた事が疑われる場合には検査の呼びかけも行っています。